

# 夏無理なく、かしこく！の省エネ3つのポイント

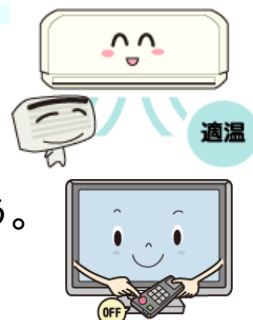
省エネが求められているけれど、どこから取り組んだらいいかわからない、より効果的な対策は？生活に影響のない範囲で…など、悩みは尽きません。この夏を“かしこく”乗り切るため、こんな工夫をしてはいかがでしょうか。

## 1 ピークカットに協力しよう。【ピークは11～16時頃】

- ・真夏日・猛暑日には冷房の設定温度を高め※調整しよう。

※外気温との差が3～5℃もあれば充分涼しく感じられます。

- ・明るいうちは照明を点けず、窓からの自然採光を。
- ・テレビをこまめに消してラジオを聞こう、本や新聞を読もう。
- ・洗濯や掃除は涼しい時に（朝のうちか夕方以降に）しよう。



## 2 みんなで集まって効率よく。【余計な熱を出さない】

- ・家族で同じ部屋に集まる時間を増やそう。
- ・図書館で本を読もう、町会や公民館のイベントに参加しよう。
- ・マイカーをやめて※電車・バスや自転車に乗ろう。

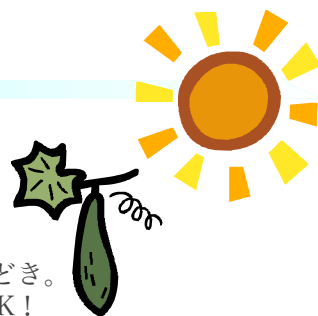
※ガソリン1Lには、常温の水100Lを沸騰させるほどの熱量が！  
ガソリンを使って街を加熱したら、他のあらゆる努力が水の泡です。



## 3 自然と仲よく。【自然エネルギーの活用】

- ・風が涼しい日は窓を開けよう。風鈴を吊るしてみよう。
- ・窓際で「緑のカーテン」を育てて涼しく過ごそう。
- ・天然のクーラー、緑地で涼もう。
- ・太陽光発電を設置する方法もあります。

「緑のカーテン」  
ゴーヤは5月が植えどき。  
アサガオなどでもOK！



### この夏、原発がなくても大丈夫？…心配ありません！



東日本大震災や原発事故で被害に遭われた方にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を願わずにはられません。また、後の「計画停電」などもあり、従来のエネルギー政策の破綻が明らかになりました。今では、原発を減らして自然エネルギーを増やすことは国民共通の願いです。

とはいえ、今すぐ使う電気が足りないのでは困ります。でも大丈夫、震災で止まっていた発電所が復旧した今は、少しだけ節約すれば十分な供給能力が確保されています。もちろん、一人一人の省エネが大切なことは変わりませんので、上記のような工夫をして、大切なエネルギーをかしこく使いましょう。



今年、神奈川県では脱原発・太陽光発電の普及を進めるための政策が準備されていますし、市の補助金も強化されています。太陽光パネル設置費用に優遇金利を用意する金融機関も登場しました。原発に依存しないエネルギー政策への転換に向けて、すでに多くの人たちが動き始めています。